

はくぶつかんネット 第70号

令和3年4月～6月号 発行：宜野湾市立博物館



春の企画展 新収蔵品展

— 平成30～令和2年度 受け入れ資料 —

ご来場ありがとうございました！



展示の様子

令和3年度も早3ヵ月、依然として終息が見えないコロナ禍が続く中に、東京オリンピックが近づいてきました。コロナウイルスの感染予防対策に苦心する日々が続いておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

宜野湾市立博物館では、春の企画展「新収蔵品展—平成30～令和2年度受け入れ資料—」を4月21日（水）から6月6日（日）までの期間を予定していましたが、緊急事態宣言の発令に伴い、5月22日（土）で終了させていただきました。

この企画展は、平成30～令和2年度の間に博物館に寄贈していただいた資料1,076点の内、212点を自然・衣食住などの13のジャンルに分けて展示しました。寄贈資料には、寄贈者のエピソードや資料が持つ時代背景などを交えることで、資料が持つ「物語」を感じていただけるようにしました。加えて、博物館がどのようなものを収集・保管しているのか、どのように資料が活用されるのかなど、市立博物館が行っている活動についてもご紹介をさせていただきました。

展示期間中は、コロナウイルスの影響がある中、301人の方にご参観いただきました。展示を見学してくださった皆さま、ご来館ありがとうございました。また、資料を寄贈していただいた皆さまに、感謝申し上げます。これらの資料は、展示会終了後、収蔵庫に保管され、今後、様々な場で活用させていただきます。



寄贈をしてくださり、
ありがとうございました！



次のページでは、博物館のお仕事について、簡単にご紹介します！

博物館ってどんなことをしているの？



新収蔵品展では、寄贈資料の紹介とともに博物館の活動について紹介しました。ここでは、企画展の中で紹介した博物館の活動と寄贈資料の活用について、簡単にご紹介したいと思います。

■収集・保管

収集方法は主に、資料を所有者から譲っていただく「寄贈」、所有者から預けていただく「寄託」があります。当館では、以下の3点を主な基準として収集をしています。

- ①宜野湾市で暮らした人々が使っていた
- ②当館に所蔵されていない、もしくは数が少ない
- ③当館が所蔵している資料より状態が良い（壊れていない）



博物館資料は寄贈・寄託の他にも、実際に見たり・触れたりできる資料を作製することもあるよ！

その後、収集した資料の情報を記した台帳への登録や、資料に付いた害虫やカビを除く「燻蒸」処理を行い、収蔵庫で保管をします。

■調査・研究

宜野湾市の歴史的変遷や、地域の特徴などの調査・研究を行います。皆さまからお譲りいただいた資料も、調査・研究の中で、活用されることがあります。

■展示・公開

調査・研究の成果は、常設展示や企画展で活用します。ご提供を受けた資料は、展示テーマに合わせて公開することもあります。

■教育・普及

宜野湾市の歴史や文化、自然など理解を深めるために活かされます。状態が良い資料は、社会科見学や出前講座（博物館職員が各学校〈市内のみ〉に出向いて行う講座）において、子どもたちの「体験学習」にも活用することがあります。

寄贈・寄託のお願い

当館での寄贈・寄託は、多くの場合がご連絡をいただくことがきっかけです。受け入れの可否については、上記の「収集・保管」に記した基準にのっとり検討させていただきますが、皆さまの思い出の品や、古い道具がありましたら、まずは当館までぜひご一報ください。

さっとせいたん 察度生誕700年記念！関連イベントについてのお知らせ



みなさんは察度王をご存知でしょうか？沖縄で初めて中国と公におおやけに貿易を行い、海洋国家として繁栄を極める琉球王国の礎を作った王様です。そして今年（2021年）は、琉球王国の歴史書『中山世譜』（1697～1701年）によると、察度王の生誕700年にあたる記念すべき年にあたります！そこで、博物館では様々なイベントを企画していますので、お楽しみに！！

企画展

察度生誕700年記念パネル展

会期：9月8日（水）～12月5日（日）

場所：博物館 展示ロビー

市民講座

察度生誕700年記念講座①

伝承で解き明かす察度王の真実

講師：伊敷 賢（琉球伝承研究所 代表）

日時：9月12日（日）14時～

場所：博物館2階 研究室

察度生誕700年記念講座②

はごろも伝説・察度の足跡を辿る～首里・那覇～

講師：宜野湾市文化財ガイド「察度の会」

日時：9月26日（日）12時半～

場所：那覇市（博物館集合） ※保険料50円

野外

宜野湾市史
最新刊！

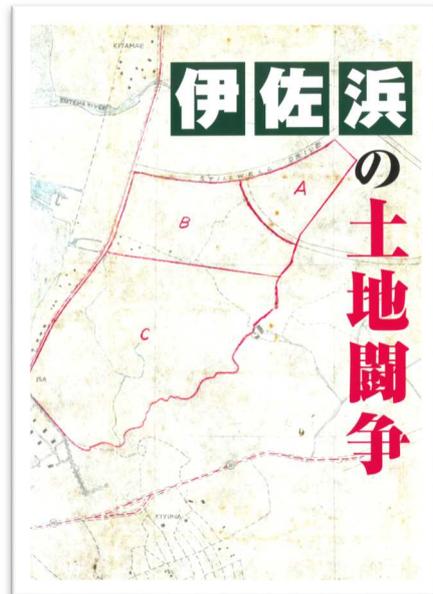
『伊佐浜の土地闘争』 発刊！

宜野湾市の歴史をつづる宜野湾市史の最新刊、
『伊佐浜の土地闘争』ができました！！

■伊佐浜の土地闘争とは？

伊佐浜の土地闘争は、1955（昭和30）年7月に伊佐浜で起きた米軍による土地接收です。伊佐浜は、現在のキャンプ瑞慶覧内にあった集落で、家や生活の糧となる田畑がありました。戦後、收容所から帰村した後、戦禍で荒れ果てた田畑を数年かけて再び使えるまでに戻しました。ようやく生活も落ち着きはじめた頃、基地建設の計画に伴い、移転先や補償も決まらぬまま、家や土地が接收されたのでした。伊佐浜の住民は、現在の沖縄市高原の俗称「インヌミヤードゥイ」に移住を余儀なくされ、中にはブラジルへ移民された家族もいました。

同じ時期に伊江島や真和志村銘苅（現・那覇市銘苅）、小禄村具志（現・那覇市具志）などでも起こり、のちに県あげての島ぐるみ土地闘争へと発展しました。



規格：A4判、オールカラー、
52ページ
価格：800円（税込）



伊佐浜の土地を敷き均すブルドーザー

■地域の歴史を知り、語り継ぐ一冊として

今回発刊した『伊佐浜の土地闘争』は、当時の写真や新聞、村役所や県からの文書、体験者の証言を盛り込んで編集したビジュアル版です。戦前の伊佐浜の様子から土地接收前後の様子まで、全20項目に分けて紹介しています。地域の歴史を知ることで、これまで当たり前だった風景の見方が変わる、後世に語り継ぐ資料や地域学習の参考書として、おススメの1冊です！お買い求め先は、下記のとおりです。

★市立博物館：☎870-9317 →市史に関するお問合せも博物館まで！

★宜野湾市文化課（市民会館2階）：☎893-4430

市史別冊『ぎのわん 教育のあゆみ』（仮）、はじまります！

今年度から、市史編集の新たな事業として、市史別冊『ぎのわん 教育のあゆみ』（仮）の編さんが始まります。教育編では、宜野湾における教育の歴史、とりわけ学校教育に視点をおいて、教育や学校の変遷を紹介します。編集作業は、今年度から始まり、令和5年度に刊行する計画で進めてまいります。あわせて令和6年度には、博物館で企画展や市民講座を予定しています。

教育編の編集や企画展の開催をふまえて、市民のみなさまにお願いがあります。教育に関するもの、たとえば記念写真や、校章つきの名札、帽子など、種類も時代も問いません。ぜひご提供ください。ご提供が難しい場合は、写真を撮らせていただけるだけでもかまいません。「こんなモノがありますよ」と博物館までご一報ください。みなさまの宝物で、教育編と企画展を充実したものにさせてください。よろしくおねがいします。

★市立博物館：☎870-9317

お電話ください





◆学校のうつりかわり◆

現在、世の中は学歴社会となり、子ども達はあたり前に学校に通う時代となりました。でも、ひと昔前は学校の数も少なく、通えるのはほんのひとにぎりの子ども達だけでした。いつから今のように学校に通い、学ぶことができるようになったのでしょうか。現在、宜野湾市内には私立も含め、10校も小学校があります。市史だより「がちまやあ」では、年間を通して宜野湾市内の小学校について取り上げていきます。

まず、年表で学校ができた年度と順番を見てみよう！

小学校の開校【宜野湾市内】

西暦・年号	できごと
1881（明治14）	中頭小学校、開校（翌年閉校）
1882（明治15）	宜野湾尋常小学校、開校
1906（明治39）	普天間尋常小学校、開校
1919（大正8）	嘉数尋常小学校、開校
1948（昭和23）	大山小学校、開校
1969（昭和44）	普天間第二小学校、開校
1976（昭和51）	大謝名小学校、開校
1982（昭和57）	志真志小学校、開校
1988（昭和63）	沖縄カトリック小学校、開校
1999（平成11）	長田小学校、開校
2014（平成26）	はごろも小学校、開校

学校ができたのは、140年前だね！

この頃、戦争があり学校の様子が大きく変わるよ。

まめ知識① 偉人

明治後期から大正初期にかけて「国吉真現」「桃原茂太」「佐喜真興英」などの東京帝国大学（現・東京大学）卒が出ています。

『宜野湾市史 第1巻通史編』

まめ知識② 方言札

1930年後半から方言追放策として、方言を話した児童の首に方言札を掛ける教育が行われました。

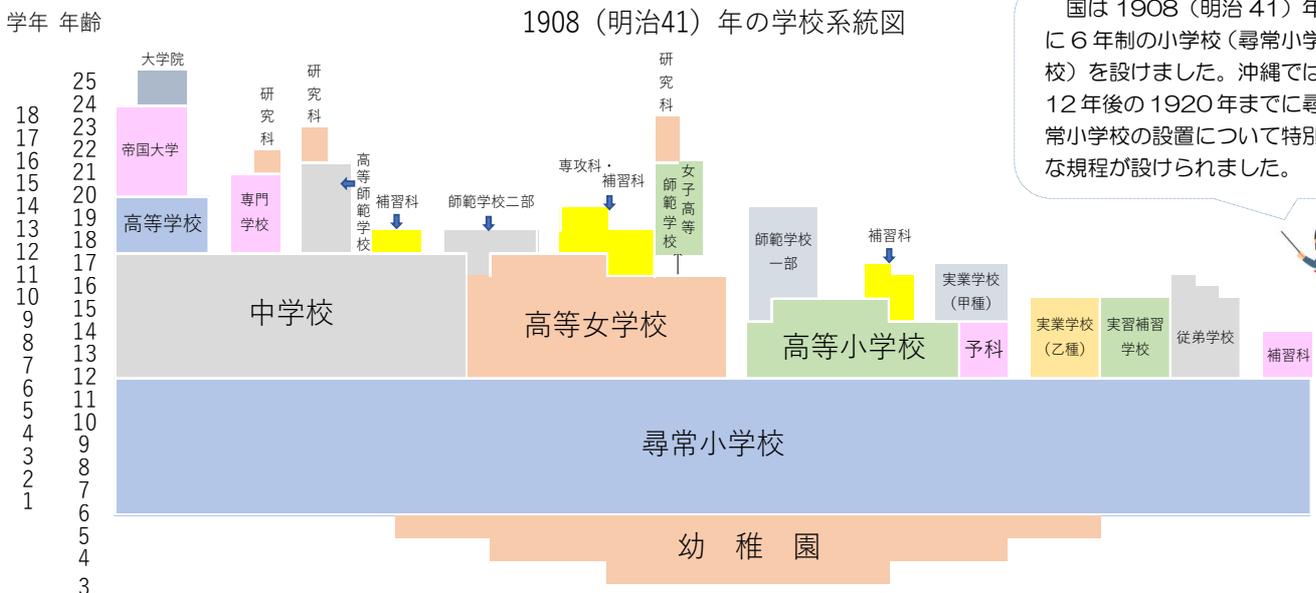
『宜野湾市史 第1巻通史編』

まめ知識③ 沖縄対話

最初の授業は先生と生徒の間で言葉が通じなく、標準語の読み書きができる教員養成の為に教科書が作られました。

つぎに、学校制度についてみてみよう！

1908（明治41）年の学校系統図



国は1908（明治41）年に6年制の小学校（尋常小学校）を設けました。沖縄では12年後の1920年までに尋常小学校の設置について特別な規程が設けられました。

ぎのわんの学校【戦前】

① 中頭小学校

開校：1881 (明治14) 年
閉校：1882 (明治15) 年

・普天間の神宮寺を借りて学校としました。



昔の普天間小



普天間小跡 (現在)

普天間尋常小学校



校舎遠景 1940 (昭和15)



卒業記念 1930 (昭和5) 頃

◆開校：1906 (明治39) 年

・宜野湾尋常小学校の分校が独立して開校しました。

1923 (大正12) 年に高等科を併置しました。



卒業記念 1940 (昭和15)

② 中頭郡間切組合立 甲種農学校

開校：1907 (明治40) 年
閉校：1916 (大正5) 年

・学校の跡地は農事試験場になりました。



昔の嘉数小

真栄原交差点の西にあったよ。郵便局やお店などが立ち並んでいます。

嘉数尋常小学校



1935 (昭和10)

◆開校：1919 (大正8) 年

・宜野湾尋常小学校の分校が独立、1922 (大正11) 年に高等科を併置しました。



卒業記念 1930 (昭和5)

宜野湾尋常小学校

◆開校：1882 (明治15) 年
・1902 (明治35) 年に高等科を併置しました。



全体集会 1938 (昭和13)



1900 (明治33)



教職員 1937 (昭和12)



昔の宜野湾小

【嘉数高台公園より】

昔の宜野湾集落内にありました。今は普天間飛行場の滑走路になっているよ。



*地図上の白い部分は戦後にできたもの (道路・基地) のイメージ図です
*地図は誤差をふくんでいます

ぎのわんの学校【戦後・小学校編】

*地図上の白い部分は基地の範囲です。
*地図は誤差を含んでいます。

⑨ 大山小学校

◆開校年 1948(昭和23)年

◆教育目標

- ・自律・協働
- ・知恵かしこい子
- ・誠実やさしい子
- ・挑戦たくましい子



⑩ 普天間第二小学校

◆開校年 1969(昭和44)年

◆教育目標

- ・進んで学習し、よく考える子
- ・明るく心豊かな子
- ・じょうぶで気力のある子

① 普天間小学校

◆開校年 1906(明治39)年

◆教育目標

- ・よく考える子
- ・心ゆたかな子
- ・からだの強い子



⑧ はごろも小学校

◆開校年 2014(平成26)年

◆教育目標

- ・よく考え、進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・健やかでねばり強くやりぬく子



⑦ 大謝名小学校

◆開校年 1976(昭和51)年

◆教育目標

- ・よく考え 行動する子
- ・思いやりのある子
- ・最後までがんばる子



② 宜野湾小学校

◆開校年 1882(明治15)年

◆教育目標

- ・よく考える子
- ・心身ともにたくましい子
- ・思いやりのある子
- ・すすんで働く子



⑥ 沖縄カトリック小学校

◆開校年 1988(昭和63)年

◆目指す子ども像

- ・神を敬う心
- ・たくましい求知心
- ・礼儀ときまりの中で



⑤ 嘉数小学校

◆開校年 1919(大正8)年

◆教育目標

- ・進んで学び、よく考える子
- ・思いやりがあり、みんなと力を合わせる子
- ・じょうぶな体、強い心を持つ子



③ 長田小学校

◆開校年 1999(平成10)年

◆教育目標

- ・自ら学び自ら考え行動する子
- ・心豊かで思いやりのある子
- ・健康でたくましい子



④ 志真志小学校

◆開校年 1982(昭和57)年

◆教育目標

- ・よく考え進んで学ぶ子
- ・心豊かで思いやる子
- ・健やかでがんばる子



令和3年度 館長挨拶と職員紹介



ハイサイ！ぐすーよー、ちゅーうがなびら！

博物館館長の平敷兼哉やいびーん。ゆたしく、うにげーさびら。

さて、昨年から猛威を奮う新型コロナの影響を受け、これまでのような博物館事業が思うように展開しにくい状況にあります。コロナの感染状況に注意しながら令和3年度をスタートすることができました。

今年度は、昨年度、コロナで中止した企画展を含め、6本の企画展を計画しております。また、今年、2021年は宜野湾の郷土の偉人の一人、察度（さっと）の生誕700年の節目でありますので、察度に関するパネル展を博物館以外に市内小中学校で、移動展として開催する予定です。企画展以外にも市民講座や児童・生徒向けのわらば～体験じゅくもコロナ対策に注意を図りながら、開催していきます。

来館されるお客様へは、このご時世、少しでも楽しみ、遊びながら学べる場をご提供したいと思えます。コロナ対策のため、多少の制約もあり、ご不便、ご面倒をおかけ致しますが、安心してご来館できる環境づくりに配慮しながら、スタッフ一同、心よりお待ちしております。令和3年度も宜野湾市立博物館をよろしくお願い致します。

宜野湾市立博物館 館長 平敷 兼哉

新職員紹介

❁ 田崎 綾乃

5月より勤務することになりました田崎と申します。生まれ育った宜野湾市の歴史や文化、自然などを身近に感じながら働けることを嬉しく思います。至らぬ点もあるかと思いますが、一日でも早く戦力となれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

❁ 武智 方寛

市史編集を担当する武智方寛（たけち・みちひろ）です。3月までは、教育委員会文化課で文化財保護指導員をしていました。今年度から宜野湾市史別冊『ぎのわん 教育のあゆみ』（仮称）の編さんがスタートします。令和5年度の発刊めざして、頑張りたいと思えます。

❁ 梅村 素子

今年、沖縄国際大学を卒業し、4月から当館で学芸担当として勤務しております梅村と申します。初めてのことばかりで不慣れな部分がありますが、こちらでの業務を通じて、宜野湾市の歴史・文化の魅力を一人でも多くの方にお伝えできるように、精一杯努力していきたいと思えます。よろしくお願い致します。

❁ 比嘉 俊允

皆さん、初めまして。比嘉俊允（ひが・としまさ）と申します。今年度から博物館の学芸担当として勤務しています。よろしくお願い致します。昨年は、沖縄県立埋蔵文化財センターに勤務していましたが、大学では歴史学（主に沖縄）を専攻していました。本格的な博物館運営は初めてで、まだまだ仕事を覚えている段階ですが、一日も早く戦力になれるように精進します。

今年度の博物館 STAFF

平敷 兼哉（博物館館長）

伊藤 圭（学芸係長）

田崎 綾乃（主任主事）

比嘉 三紀子（市史編集担当）

武智 方寛（市史編集担当）

陣野原 知行（学芸担当）

梅村 素子（学芸担当）

比嘉 俊允（学芸担当）

田中 樹（学芸担当）

皆さまのご来館を、職員一同
お待ちしております！



まだまだ見えない敵との戦いは続くようで、引き続き右記（QRコード）のとおり新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら開館・事業を進めてまいります。

皆さまのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



感染予防対策
QRコード

令和3年度 年間行事カレンダー

みなさんのご来館をお待ちしております♪



企画展	市民講座
<p>【慰霊の日 写真パネル展】</p> <p>沖縄戦の中の宜野湾</p> <p>7/12(月)～8/1(日)</p>	<p>7/25(日) 野外 ぶらっと博物館めぐり ～ひめゆり平和祈念資料館～</p> <p>講師：ひめゆり平和祈念資料館 職員</p>
<p>【東京オリンピック開催記念企画展】</p> <p>すごいゾ！熱いゾ！！</p> <p>宜野湾スポーツありんくりん</p> <p>8/7(土)～9/26(日)</p>	<p>8/29(日) 琉球の測量術と印部石のナゾ</p> <p>講師：安里 進（沖縄県立芸術大学 名誉教授）</p>
<p>【小・中学校連携展】</p> <p>第29回 ぎのわんの文化財図画作品展</p> <p>10/2(土)～10/17(日)</p>	<p>9/12(日) 察度生誕700年記念講座① 伝承で解き明かす察度王の真実</p> <p>講師：伊敷 賢（琉球歴史伝承研究所 代表）</p>
<p>【琉球大学合同企画展】</p> <p>琉球大学資料にみる宜野湾(仮)</p> <p>10/23(土)～11/21(日)</p>	<p>9/19(日) 沖縄の戦争遺跡を知ることのできること ～文化財調査で見えてきたもの～</p> <p>講師：山本 正昭（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）</p>
<p>【地域との共同企画展】</p> <p>ぎのわんの字展 ～神山編～(仮)</p> <p>11/27(土)～12/26(日)</p>	<p>9/26(日) 野外 察度生誕700年記念講座② はごろも伝説・察度の足跡を辿る ～首里・那覇～</p> <p>講師：宜野湾市文化財ガイド「察度の会」</p>
<p>他にも</p> <p>【察度生誕700年記念パネル展】</p> <p>琉球王国繁栄への道のり(仮)を、</p> <p>9/8(水)～12/5(日)まで開催するヨ★</p>	<p>10/10(日) 野外 沖縄のホテルとホテルあそび</p> <p>講師：佐々木 健志（琉球大学博物館（風樹館）助教）</p>
<p>※市民講座は全て事前申込制です。各回、約3週間前からの受付開始になりますが、詳細等は当館ホームページまたは市報にてご確認ください。</p>	<p>10/17(日) スポーツこぼれ話(仮)</p> <p>講師：島袋 洋奨（興南高校野球部 コーチ）</p>
<p>【小・中学校連携展】</p> <p>第29回 ぎのわんの文化財図画作品展</p> <p>10/2(土)～10/17(日)</p>	<p>10/24(日) 野外 西普天間に残るイシジャーの地理観察</p> <p>講師：上原 富二男（沖縄大学 名誉教授）</p>
<p>【琉球大学合同企画展】</p> <p>琉球大学資料にみる宜野湾(仮)</p> <p>10/23(土)～11/21(日)</p>	<p>10/31(日) 琉球大学合同企画展関連講座① 沖縄での蚊とマラリアについて(仮)</p> <p>講師：斉藤 美加（琉球大学 医学研究科助教授）</p>
<p>【地域との共同企画展】</p> <p>ぎのわんの字展 ～神山編～(仮)</p> <p>11/27(土)～12/26(日)</p>	<p>11/ 7(日) 琉球大学合同企画展関連講座② 防疫・防災に関する沖縄の民俗について(仮)</p> <p>講師：赤嶺 政信（琉球大学 名誉教授）</p>
<p>他にも</p> <p>【察度生誕700年記念パネル展】</p> <p>琉球王国繁栄への道のり(仮)を、</p> <p>9/8(水)～12/5(日)まで開催するヨ★</p>	<p>12/ 5(日) 基地内に残る文化財</p> <p>講師：仲村 健（宜野湾市文化課 文化財整備係長）</p>
<p>※市民講座は全て事前申込制です。各回、約3週間前からの受付開始になりますが、詳細等は当館ホームページまたは市報にてご確認ください。</p>	<p>12/12(日) 野外 歴史の道 ～中頭方西海道と宜野湾並松街道～</p> <p>講師：平敷 兼哉（宜野湾市立博物館 館長）</p>
<p>他にも</p> <p>【察度生誕700年記念パネル展】</p> <p>琉球王国繁栄への道のり(仮)を、</p> <p>9/8(水)～12/5(日)まで開催するヨ★</p>	<p>1/ 9(日) 野外 古墓めぐり</p> <p>講師：伊藤 圭（宜野湾市立博物館 学芸係長）</p>
<p>※市民講座は全て事前申込制です。各回、約3週間前からの受付開始になりますが、詳細等は当館ホームページまたは市報にてご確認ください。</p>	<p>1/30(日) 石器が語る沖縄の歴史</p> <p>講師：大堀 皓平（沖縄県教育庁文化財課 主任専門員）</p>
<p>他にも</p> <p>【察度生誕700年記念パネル展】</p> <p>琉球王国繁栄への道のり(仮)を、</p> <p>9/8(水)～12/5(日)まで開催するヨ★</p>	<p>2/13(日) 琉球藍の話</p> <p>講師：大湾 ゆかり（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）</p>

※日程・内容は、新型コロナウイルス等によって変更する場合があります。

宜野湾市立博物館

〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
TEL: 870-9317 FAX: 870-9316

- 入館料：無料
- 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日：毎週火曜日、祝祭日、年末年始（文化の日、慰霊の日は開館）

